



<http://www.kpmg.or.jp/r/kpmgf-2013.html>

© 2013 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved. Printed in Japan.

The KPMG name, logo and “cutting through complexity” are registered trademarks or trademarks of KPMG International.



cutting through complexity

KPMGジャパン 主催

KPMGフォーラム 2013

—不確実性の時代における
企業の持続的成長のために

東京 2013年11月25日(月)・26日(火)

東京ミッドタウン
ホール&カンファレンス

名古屋 2013年11月29日(金)

ミッドランドホール

大阪 2013年12月9日(月)

ホテルニューオータニ大阪



はじめに

KPMGでは、このたび「KPMGフォーラム2013 –不確実性の時代における企業の持続的成長のために」を、東京(11月25日、26日)、名古屋(11月29日)、大阪(12月9日)において開催する運びとなりましたので、謹んでご案内申し上げます。

東京五輪招致決定は、安倍政権の経済政策アベノミクスとともに、今後、日本経済の復活を後押しするものと期待されます。日本企業にはこれを契機に、長く続いたデフレと縮み志向からの脱却と、国際競争力を意識した企業戦略が求められます。

当フォーラムは、あずさ監査法人主催の「財務総合フォーラム」を大幅リニューアルし、皆様の成長戦略策定と課題解決の一助となるよう、KPMGジャパングループが一体となって厳選したテーマに基づく情報を提供させていただくものです。

特に、ビッグデータの展望、IFRSへの対応を巡る日本の最新動向については、外部有識者を招聘したセッションをご用意しております。

また、企業の最重要課題である「成長戦略」「経営管理の高度化」「財務戦略」をテーマに掲げ、事業ポートフォリオの見直し、戦略会計・業績評価体制、グローバル企業の国際税務の最新動向等のセッションや、「会計」「海外」「業種」をキーワードとして深掘りした、IFRSが経営に与える影響、新興国の最新動向、自動車・エネルギー業界の動向等のセッションを企画いたしました。

いずれも、KPMGの監査、税務、アドバイザリーの3つの分野のプロフェッショナルが、それぞれの専門知識やスキル、グローバルネットワークを活用しながら総力を結集した内容となっております。

ご多忙中の折とは存じますが、是非とも内容をご高覧いただき、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

KPMGジャパン

Private Equity Data Analy
 Governance Technology
Indirect Tax Regulator
 Investment Management Mex
 Regulatory Change Middle M
 Cloud Technology Integrated
AUDIT
 sources
 ce Healthcare
 telecommunications
TAX
ADVISORY
 nce Agricultural & Food Indu
プログラム Middle Markets
 FRs Global Innovation
 Healthcare Retail
 tion Management Consulting
 ormation Security Real Estate
 ommunications South Africa
 ting Due Diligence Insurance
 Internal Audit Data Analytics
 Consulting **Cross-bor**
 ata Analytics Manage
 Investment Management Me
 Regulatory Change Middle M
 Cloud Technology Integrated
 Due Diligence Insurance Ma

2013.11.25

10:00

ご挨拶

内山 英世
 (KPMGジャパン CEO)

12:10

休憩 (70分)

13:20

1-1 P11

事業ポートフォリオ
 組替による
 企業価値最大化

14:20

休憩 (20分)

14:40

1-6 P12

コア事業とは何か？
 -事業ポートフォリオの
 見直しとターンアラウンド
 の要諦

15:40

休憩 (20分)

16:00

1-11 P13

自らの変革なくして
 M&Aの成功はない
 -PMIを想定した
 オペレーティングモデル

同時通訳

17:00

10:10

基調講演

P8

ビッグデータと今後の社会

喜連川 優 氏

(国立情報学研究所 所長 / 東京大学生産技術研究所 教授)

11:10

特別講演

P8

ビッグデータとビジネス変革

武田 浩一 氏

(日本アイ・ピー・エム株式会社 東京基礎研究所 技術理事)

休 憩 (70分)

1-2

P11

価値創造の戦略会計

ー 会計力アップによる
経営管理高度化の実践

1-3

P11

税源浸食と利益移転
(BEPS:Base Erosion&
Profit Shifting)の動向と
日系企業に与える影響

1-4

P11

業務オペレーション
高度化に向けた
リスク管理とIT化戦略

1-5

P11

プロジェクト
マネジメントの
ガバナンスを考える

休 憩 (20分)

1-7

P12

価値創造の戦略会計

ー 予算管理の高度化

1-8

P12

移転価格税制の
最新動向 /
グローバル税務戦略
の立案

1-9

P12

コスト管理の新潮流
ー グローバル企業に見る
購買支出管理の高度化に
よる競争力強化

1-10

P12

サイバー攻撃の
脅威に備える
ー 予測からの効果的な
防御策の新たな視点

同時通訳

休 憩 (20分)

1-12

P13

価値創造の戦略会計

ー 企業価値向上のための
活用

1-13

P13

拡大する
FTAネットワークの
活用と原産証明
プロセスの整備

1-14

P13

サプライチェーン
“リスク”マネジメント
ー 「早い」「安い」「うまい」
調達に加えるべき視点

1-15

P13

M&A
一人称で語る
デューデリジェンス

10:00

ご挨拶

天野 秀樹 (あずさ監査法人 副理事長)

10:10

イントロダクション

P9

IFRSへの対応を巡る最近の日本の動向

山田 辰己

(あずさ監査法人 パートナー (公認会計士) / 前 国際会計基準審議会 (IASB) 理事)

11:40

休憩 (80分)

13:00

2-1 P14

IFRSを巡る
グローバルトレンド
ー基準設定の最新動向

2-2 P14

IFRS公開草案
「リース」
ー日本企業に及ぼす影響

2-3 P14

経営管理高度化を
支えるインフラの
再構築
ーグローバル時代の
経理基盤整備

2-4 P14

欧州事業の効率化と
機能集約の手法と
事例

14:00

休憩 (30分)

14:30

2-9 P15

日本企業にとっての
IFRS重要論点
ー先行企業の
導入経験を踏まえて

2-10 P15

企業開示の新潮流
ー制度対応を超えた
コミュニケーションツール
としての開示とは

2-11 P16

経営管理高度化を
支えるインフラの
再構築
ーグローバル時代の
情報システム整備

2-12 P16

ケーススタディで
解説する
中国PE課税強化の
動向とその対応策

15:30

休憩 (30分)

16:00

2-17 P17

IFRSの潮流と
会計ガバナンスの
再構築
ー連結経営管理の
課題解消に向けて

2-18 P17

退職給付会計基準
改正への実務対応

2-19 P17

巨額ののれんの減損
は、なぜ起こったか、
どう防ぐか

2-20 P17

海外腐敗防止体制
構築について
ーもはや「待ったなし」の
外国公務員等贈賄リスク
対応体制の構築

17:00

10:40

基調講演

P9

IFRS適用が日本企業にもたらすもの

釜 和明 氏 (株式会社IHI 代表取締役会長)

11:10

対談

P9

釜 和明 氏 (株式会社IHI 代表取締役会長)
×山田 辰己 (あずさ監査法人 パートナー
(公認会計士) / 前 国際会計基準審議会 (IASB) 理事)

休憩 (80分)

2-5 P14

インド投資・会計・
税務最新事情

2-6 P15

メキシコ会計・税務
最新事情

2-7 P15

新たなフロンティア
アフリカの潜在性ー拡大するチャンスと
多様化するリスクへの
対応とは

2-8 P15

グローバル戦略を
推進する
人材マネジメントー次世代人材の育成と
タレントマネジメントは
どうあるべきか

休憩 (30分)

2-13 P16

ミャンマー投資・会計・
税務最新事情

2-14 P16

自動車業界の
サプライチェーンを
取り巻くリスクと
その対応

2-15 P16

非財務情報開示の
最前線ーサステナブルな社会
実現のために

2-16 P17

新興国における
PMIをスムーズに
進めるための
リスク対応

休憩 (30分)

2-21 P18

インドネシア投資・会計・
税務最新事情

2-22 P18

エネルギービジネスの
グローバルリスク管理

2-23 P18

ヘルスケアの
グローバルな潮流と
日本市場に対する示唆

2-24 P18

グローバル企業の
成長戦略における
情報システムの
活用について

10:00

基調講演 P10**IFRSへの対応を
巡る最近の日本の
動向**

山田 辰己 (あずさ監査法人
パートナー (公認会計士) /
前 国際会計基準審議会
(IASB) 理事)

3-1 P12**価値創造の戦略会計**
ー予算管理の高度化**3-2** P12**コア事業とは何か?**
ー事業ポートフォリオの
見直しとターンアラウンド
の要諦**3-3** P16**ケーススタディで
解説する
中国PE課税強化の
動向とその対応策**

11:40

休憩 (80分)

13:00

3-4 P12**サイバー攻撃の
脅威に備える**
ー予測からの効果的な
防御策の新たな視点**3-5** P18**グローバル企業の
成長戦略における
情報システムの
活用について****3-6** P15**メキシコ会計・税務
最新事情****3-7** P18**グローバルな視点から
見た国際課税の
現況と動向**
ー新興国、BEPS、
OECD

14:00

休憩 (20分)

14:20

3-8 P15**日本企業にとっての
IFRS重要論点**
ー先行企業の
導入経験を踏まえて**3-9** P11**業務オペレーション
高度化に向けた
リスク管理とIT化戦略****3-10** P18**インドネシア投資・
会計・税務最新事情****3-11** P12**移転価格税制の
最新動向 /
グローバル税務戦略
の立案**

15:20

休憩 (20分)

15:40

3-12 P16**非財務情報開示の
最前線**
ーサステナブルな社会
実現のために**3-13** P19**西日本の
上場企業が抱える
M&Aの課題と対策****3-14** P17**海外腐敗防止体制
構築について**
ーもはや「待ったなし」の
外国公務員等贈賄リスク
対応体制の構築**3-15** P13**拡大する
FTAネットワークの
活用と原産証明
プロセスの整備**

16:40

10:00

ご挨拶

吉田 享司

(あずさ監査法人 専務理事 大阪事務所長 パートナー)

10:10

基調講演

P10

IFRSへの対応を巡る
最近の日本の動向

山田 辰己

(あずさ監査法人 パートナー (公認会計士) /
前 国際会計基準審議会 (IASB) 理事)

11:40

休憩 (80分)

13:00

4-1 P19

再編スキームの
策定と税務リスク

4-2 P19

連結経営管理の
新潮流

ー統合的連結経営管理と
管理連結ソリューション
の動向

4-3 P18

インドネシア投資・
会計・税務最新事情

4-4 P13

自らの変革なくして
M&Aの成功はない

ーPMIを想定した
オペレーティングモデル

同時通訳

14:00

休憩 (30分)

14:30

4-5 P19

移転価格税制の
最新動向

4-6 P15

グローバル戦略を
推進する
人材マネジメント

ー次世代人材の育成と
タレントマネジメントは
どうあるべきか

4-7 P14

インド投資・会計・
税務最新事情

4-8 P11

事業ポートフォリオ
組替による
企業価値最大化

15:30

休憩 (30分)

16:00

4-9 P16

ケーススタディで
解説する
中国PE課税強化の
動向とその対応策

4-10 P19

日本における
IFRSの適用動向と
企業の取組

4-11 P16

ミャンマー投資・
会計・税務最新事情

4-12 P19

西日本の
上場企業が抱える
M&Aの課題と対策

17:00

基調講演

11月25日／10:10-11:10

ビッグデータと今後の社会

米国ホワイトハウスからの報道以降、ビッグデータが最近とりわけ注目されています。データがnew oilと呼ばれる時代に、ビッグデータによって世界観がどう変化するのか、その潮流について展望します。



喜連川 優 氏

国立情報学研究所 所長／東京大学生産技術研究所 教授

1983年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。工学博士。東京大学生産技術研究所教授。東京大学地球観測データ統融合連携研究機構長。2013年4月より国立情報学研究所所長。データベース工学の研究に従事。内閣府最先端研究開発支援プログラムを中心研究者として推進中。電子情報通信学会業績賞、情報処理学会功績賞、ACM SIGMOD E.F Codd Innovations Award受賞。ACM、IEEE、電子情報通信学会ならびに情報処理学会フェロー。2013年6月より情報処理学会会長。

特別講演

11月25日／11:10-12:10

ビッグデータとビジネス変革

ビッグデータの分析によるビジネスの差別化や機会創出への期待が高まっています。データの爆発的な増加は、ビジネスにどのような変化をもたらすのでしょうか？これまでのビッグデータ活用事例やビッグデータ処理技術をもとに、今後のビジネス変革について展望します。



武田 浩一 氏

日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 技術理事

1983年京大大学院工学研究科修士課程修了。情報学博士。同年日本アイ・ビー・エム株式会社入社。以後、東京基礎研究所において自然言語処理やテキストマイニングの研究に従事。2007年12月より質問応答システムWatsonの研究開発プロジェクトに参画。現在同社技術理事。情報処理学会フェロー。

イントロダクション

11月26日 / 10:10-10:40

IFRSへの対応を巡る最近の日本の動向

本年に入り大きな動きを見せている日本における国際財務報告基準(IFRS)の制度化について概観するとともに、強制適用と任意適用の問題等の基本的な考え方における立場、任意適用増加に向けての各種施策、ピュアIFRSとJ-IFRSの問題等の日本企業における適用の方法について解説します。

山田 辰己 あずさ監査法人 パートナー (公認会計士) / 前 国際会計基準審議会 (IASB) 理事

基調講演

11月26日 / 10:40-11:10

IFRS適用が日本企業にもたらすもの

今年の金融庁企業会計審議会において、国際会計基準(IFRS)適用に関する新たな方向性が示されました。このような流れの中で経団連企業会計委員長としてとりまとめた提言を解説するとともに、グローバルに事業を展開する製造業の経営者の視点から、企業会計が経営にどのような影響を与えるか、企業会計制度をめぐる動き、特にIFRS適用が日本企業に何をもたらすかなどについて、展望します。

釜 和明氏 株式会社IHI 代表取締役会長

対 談

11月26日 / 11:10-11:40

IFRS任意適用拡大について、財務諸表作成側(企業側)と制度側でIFRS任意適用拡大に向けてどのような協調ができるのか、また、何が今必要とされているのかについて、対談をつうじて財務諸表作成側の企業の立場をより深く考察します。

釜 和明氏 株式会社IHI 代表取締役会長

山田 辰己 あずさ監査法人 パートナー (公認会計士) / 前 国際会計基準審議会 (IASB) 理事



釜 和明氏

株式会社IHI 代表取締役会長

1971年東京大学経済学部卒、石川島播磨重工業(現IHI)入社。IHI INC.(米国子会社)副社長などを経て、2004年執行役員財務部長、2005年取締役、2007年代表取締役社長兼最高経営執行責任者、2012年より現職。

主な公職等に財務会計基準機構(FASF)理事長、日本経済団体連合会企業会計委員長、同日本トルコ経済委員長、金融庁企業会計審議会企画調整部会臨時委員、日本航空機エンジン協会代表理事、日本船舶輸出組合理事長など。



山田 辰己

あずさ監査法人 パートナー (公認会計士) / 前 国際会計基準審議会 (IASB) 理事

1976年慶應義塾大学商学部卒業。公認会計士。大学卒業後、住友商事株式会社で決算業務や海外駐在をした後、1993年から2001年まで中央監査法人に勤務。その後、2001年から2011年まで国際会計基準審議会(IASB)理事。2011年9月よりあずさ監査法人パートナー。2012年1月に同理事、同年6月にKPMGアジア太平洋地域IFRS統括責任者就任。

基調講演

(名古屋)11月 29日/10:00-11:40 (大阪)12月 9日/10:10-11:40

IFRSへの対応を巡る最近の日本の動向

最近の日本でのIFRS導入に向けた動き(自民党の提言、企業会計審議会の報告書、その後のASBJにおけるJ-IFRSの開発状況など)及びIASBでの基準開発状況(概念フレームワーク、収益認識、リース及び減損など)などを解説します。

.....



山田 辰己

あずさ監査法人 パートナー (公認会計士) / 前 国際会計基準審議会 (IASB) 理事

1976年慶應義塾大学商学部卒業。公認会計士。大学卒業後、住友商事株式会社で決算業務や海外駐在をした後、1993年から2001年まで中央監査法人に勤務。その後、2001年から2011年まで国際会計基準審議会 (IASB) 理事。2011年9月よりあずさ監査法人パートナー。2012年1月に同理事、同年6月にKPMGアジア太平洋地域IFRS統括責任者就任。

1-1 (11月25日13:20-14:20 東京)

4-8 (12月9日14:30-15:30 大阪)

事業ポートフォリオ組替による 企業価値最大化

KPMG FAS コーポレートファイナンス部門
パートナー 石井 利明(公認会計士)

アベノミクスの期待感から日本企業の経営環境は改善しつつあり、グローバル競争下で事業再構築を行い、国際競争力を回復していくことが課題となっています。本セッションでは、「企業価値」というメジャー(尺度)を使って、事業の再構築の方向性、その実践方法から経営管理体制まで、企業の取り組むべき施策を検討していきます。

1-2 (11月25日13:20-14:20 東京)

価値創造の戦略会計

—会計力アップによる経営管理高度化の実践

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 足立 純一(公認会計士)

経営管理高度化実践のためには、「インフラの整備」「仕組みの構築」「企業価値向上を図るプロセスの確立」の3つのテーマをバランスよくスパイラルアップさせていく必要があります。本セッションでは、経営管理高度化をグローバルレベルで指向する企業が取組むべき領域を明確にし、関連プロジェクトを効果的に進めるためのポイントを考察します。

1-3 (11月25日13:20-14:20 東京)

税源浸食と利益移転(BEPS: Base Erosion&Profit Shifting)の動向と日系企業に与える影響

KPMG税理士法人 M&A/グローバル・ソリューションズ
グローバル税務担当パートナー 高嶋 健一 (OECD諮問委員会
日本代表委員(国際租税)、オーストラリア公認会計士)

2012年10月、イギリスに端を発したグローバル企業の節税スキーム批判は、今やワールドワイドな広がりを見せ、G20財務大臣会議等の主要な議題となっています。OECDは解決策の検討を委任されており、その動向は企業行動に多大な影響を与えることが予想されます。本セッションでは背景、問題の節税スキーム、現行の国際課税ルールの問題点等をわかりやすく解説します。

1-4 (11月25日13:20-14:20 東京)

3-9 (11月29日14:20-15:20 名古屋)

業務オペレーション高度化に向けた リスク管理とIT化戦略

KPMG BPA パートナー 濱田 克己
KPMGビジネスアドバイザー ディレクター 林 拓矢

ビジネスニーズが多様化する中、企業では事業・組織再編やIT高度化施策を打ち出し、従来の業務品質を維持しつつリスクに耐える運営体制改善に取り組んでいます。本セッションでは、多様なビジネスモデルを支援する間接部門を中心に、オペレーションリスクを意識した業務管理の在り方やIT基盤の動向について考察します。

1-5 (11月25日13:20-14:20 東京)

プロジェクトマネジメントの ガバナンスを考える

KPMG FAS フォレンジック部門 ディレクター 堀田 知行

従来プロジェクトマネジメントではコスト、納期、仕様への準拠などが重視されてきましたが、昨今、特に利害関係者が多岐に亘る場合などは、客観性と透明性の担保が成否を決する主因となります。本セッションでは、プロジェクトに直接の利害関係を持たない第三者によるプロジェクトガバナンスおよびプロジェクトマネジメントについて考察します。

1-6 (11月25日14:40-15:40 東京)
3-2 (11月29日10:00-11:40 名古屋)

コア事業とは何か？

－事業ポートフォリオの見直しとターンアラウンドの要諦

KPMG BPA パートナー 井口 耕一

「選択と集中」で成果を上げることは容易ではありません。選択すべき事業を見誤る、集中すべき領域に資源を割り当てられないことなどが原因です。本セッションでは、事業ポートフォリオの見直しの際に陥りがちな過ちと成功のポイントを、「コア事業の見定め方法」「コスト削減の正しい考え方」「価格戦略」「KPIの設定方法」の4つの側面から解説します。

1-7 (11月25日14:40-15:40 東京)
3-1 (11月29日10:00-11:40 名古屋)

価値創造の戦略会計

－予算管理の高度化

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 鈴木 龍吾(公認会計士)

経済環境が目まぐるしく変化する現代において、企業価値向上のための業績評価および経営意思決定を適時・適切に行う予算管理・原価管理の必要性が、ますます高まっています。本セッションでは、予算管理・原価管理体系の全体像を明らかにするとともに、その高度化を実現するための留意点について解説します。

1-8 (11月25日14:40-15:40 東京)
3-11 (11月29日14:20-15:20 名古屋)

移転価格税制の最新動向／ グローバル税務戦略の立案

KPMG税理士法人 国際事業アドバイザー
部門代表／グローバル移転価格サービスGTPS日本代表
パートナー 田中 淳(公認会計士、税理士) [東京]
パートナー 角田 伸広 [東京]
パートナー 堀口 大介 [名古屋]

企業活動の海外シフトに伴い、納税者側での移転価格プランニングの重要性が増大しています。本セッションでは移転価格税制執行の最新動向を概観し、併せて税制改正の内容ならびにそれらを踏まえたグローバル税務戦略について解説するとともに、多国籍企業への国際的な課税強化の潮流における移転価格税制への影響等についても紹介します。

1-9 (11月25日14:40-15:40 東京)

同時通訳

コスト管理の新潮流

－グローバル企業に見る
購買支出管理の高度化による競争力強化

KPMG戦略ソーシング・購買チーム グローバルリーダー
Christian Rast

企業の購買費は、一般に総支出のうち、40%から80%を占めると言われています。国際競争が激化する中、購買支出管理を高度化し、高利益体質を目指すことが求められています。本セッションでは、グローバルのトップ企業がどのように支出管理を高度化し、競争力の源泉としているかを、事例を交えて紹介します。

1-10 (11月25日14:40-15:40 東京)
3-4 (11月29日13:00-14:00 名古屋)

サイバー攻撃の脅威に備える

－予測からの効果的な防御策の新たな視点

KPMG FAS フォレンジック部門 ディレクター
伊藤 益光(公認会計士、公認情報システム監査人(CISA))

昨今、サイバー兵器の出現等、サイバー犯罪や企業スパイ活動は執拗になってきています。また、クラウド、スマートフォンなどの新技術、産業制御システムなどの社会インフラへのサイバー攻撃も問題化しています。本セッションでは、サイバー攻撃のトレンドを俯瞰し、今後予測される攻撃や効果的な防御策について新たな視点から考察します。

1-11 (11月25日16:00-17:00 東京)

4-4 (12月9日13:00-14:00 大阪)

同時通訳

自らの変革なくしてM&Aの成功はない —PMIを想定したオペレーティングモデル

KPMG BPA

パートナー 中尾 哲也

ディレクター Thomas Tevendale

均質で優秀な労働者に恵まれている日本企業には、詳細な業務マニュアルは必要ありません。しかし、M&Aを通じて、海外の多様な事業環境でビジネスを展開するには、業務プロセスが標準化されていないと却って非効率です。海外M&Aの前に、まずは自らのM&A戦略やオペレーティングモデルを点検・変革し、その後の円滑な事業統合 (PMI) を実現するためのアイデアを解説します。

1-12 (11月25日16:00-17:00 東京)

価値創造の戦略会計 —企業価値向上のための活用

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 鳥生 裕(公認会計士)

企業のインフラ整備および組織改革後、さらに連結ベースで企業価値を向上させるには、計数管理、リスクマネジメント、人材の育成・活用の3つの視点での改革が必要となります。本セッションでは、それらの視点において、自社の経営風土や立ち位置を測定し、各企業に適した基盤活用のシナリオ策定について、経験を踏まえて解説します。

1-13 (11月25日16:00-17:00 東京)

3-15 (11月29日15:40-16:40 名古屋)

拡大するFTAネットワークの活用と 原産証明プロセスの整備

KPMG税理士法人 関税・間接税アドバイザーグループ

パートナー 梅辻 雅春(公認会計士、税理士、通関士有資格) [東京] [名古屋]

パートナー 神津 隆幸(税理士、米国公認会計士) [東京]

FTAの関税メリットを確保するためには、品目別の原産地規則を満たす必要があります。FTAネットワークの大幅な拡大が政府の政策目標に掲げられ、今までと異なる原産地証明手続の導入も見込まれるTPP協議が年内にも妥結する可能性がある状況を踏まえ、本セッションではERPと連動したシステム対応を含む、効率的な原産地管理方法を紹介します。

1-14 (11月25日16:00-17:00 東京)

サプライチェーン“リスク”マネジメント —「早い」「安い」「うまい」調達に加えるべき視点

KPMG BPA シニアマネジャー 岡本 准

日本企業は“早い(納期) / 安い(コスト) / うまい(品質)”といったSCMを実現すべく取り組んできましたが、近年のグローバル調達拡大、自然災害、紛争鉱物規制といった影響で環境が変容し、リスク管理も織り込んだ次世代SCMが求められてきています。本セッションでは次世代SCM構築にあたっての留意事項について解説します。

1-15 (11月25日16:00-17:00 東京)

M&A 一人称で語るデューデリジェンス

KPMG FAS トランザクションサービス 日本統括責任者

パートナー 松下 修(公認会計士)

M&Aの成否は、買収後のPMIにかかっていると云われて久しくなります。PMIの成否は、買収後、一定の時間軸、混沌とする状況下で、課題を適切に「実行していく力」、すなわち、「実行の牽引力(者)」にかかっています。「実行の牽引力(者)」が、デューデリジェンス実施の早い段階から、自ら深く関与し、「PMIを視野に入れたデューデリジェンスを一人称で語る」ことが、M&A成功の鍵となります。

2-1 (11月26日13:00-14:00 東京)

IFRSを巡るグローバルトレンド ー基準設定の最新動向

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 田中 弘隆(公認会計士)

世界的にIFRS適用国が増加する中、IASBは基準開発の方針を、従来の二者間の協議から、世界の複数の国々の会計基準設定主体との複数者間の協議に転換しています。本セッションでは、この状況下でのIFRS財団の活動と、IASBにおける基準開発の状況(近年最終化された基準、現在開発中の収益認識、金融商品、リース等)を解説します。

2-2 (11月26日13:00-14:00 東京)

IFRS公開草案「リース」 ー日本企業に及ぼす影響

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 山本 勝一(公認会計士)

2013年5月に公表されたIFRS公開草案「リース」によれば、原則として全てのリースをオンバランス化することが借りに求められています。本セッションではその後の議論の動向とともに、最終化された場合の財務諸表や開示に与える影響や、業務プロセスに与える実務上のインパクトを考察します。

2-3 (11月26日13:00-14:00 東京)

経営管理高度化を支える インフラの再構築 ーグローバル時代の経理基盤整備

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
シニアマネジャー 中浜 精一(公認会計士)

グローバル一体での事業運営が進むにつれ、決算期、会計処理方法等のインフラを統一し、迅速かつ高品質のグループ経営情報を把握・活用する等、経営管理高度化に取り組む企業が増えています。本セッションでは、経営管理高度化を支えるインフラ整備のアプローチ、成功要因、留意点を先行事例によるポイントも踏まえ考察します。

2-4 (11月26日13:00-14:00 東京)

欧州事業の効率化と 機能集約の手法と事例

あずさ監査法人 GJP統括責任者
パートナー 三浦 洋(公認会計士)

欧州で事業を展開する多くのグローバル企業において、地域統括を通じた機能集約化と各国版社の独自機能との機能配分の見直し、重要な経営課題となっています。本セッションでは欧米企業の先行事例を紹介しつつ、日本企業が今後取り組むべき組織再編の方向性と手法を(1)欧州組織モデルの類型、(2)バックオフィスの一元集中化(SSC/BPO)、(3)欧州統括会社の機能と所在地選定という3つの視点から解説します。

2-5 (11月26日13:00-14:00 東京)

4-7 (12月9日14:30-15:30 大阪)

インド投資・会計・税務最新事情

あずさ監査法人 インド事業室
パートナー 笠間 智樹(公認会計士)

2013年度に入り経済成長率が5%に落ち込んでいるインドですが、依然、日本企業の関心は高く、経済交流は活発化しています。本セッションでは、日本企業がインドでビジネスを行うにあたって留意すべき外資規制や資金調達方法、税務などに加えて、本年可決され、日本企業のインド国内での活動にも影響を与えると思われる新会社法についても解説します。

2-6 (11月26日13:00-14:00 東京)
3-6 (11月29日13:00-14:00 名古屋)

メキシコ会計・税務最新事情

あずさ監査法人 メキシコデスク
パートナー 吉田 幸司(公認会計士)

メキシコは安定した経済成長を続けており、自動車産業を中心に、日系企業の進出が今もなお続いています。しかしメキシコの税制は一般的に解りづらいため、税制の正しい理解は進出企業にとって重要な課題です。本セッションでは、2014年度税制改正案など、進出後の日系企業が知っておくべき税務実務や会計実務等について説明します。

2-7 (11月26日13:00-14:00 東京)

新たなフロンティア アフリカの潜在性 — 拡大するチャンスと多様化するリスクへの対応とは

KPMGビジネスアドバイザー ディレクター 茂木 寿

アフリカ地域では近年外資誘致等によって高い経済成長を遂げており、市場の潜在性に関心が集まっています。政治的混乱、地域紛争、インフラ未整備等の企業進出リスクもありますが、アジア新興国の投資環境と比べて遜色ない国も多いのが実情です。本セッションでは、投資対象としてのアフリカの将来性ととともに、リスクマネジメントについて解説します。

2-8 (11月26日13:00-14:00 東京)
4-6 (12月9日14:30-15:30 大阪)

グローバル戦略を推進する 人材マネジメント

— 次世代人材の育成とタレントマネジメントはどうあるべきか

KPMGビジネスアドバイザー シニアマネジャー 油布 顕史

企業のグローバル化が進み、グローバル人材を育成できない日本本社、現地社員と駐在員との軋轢が深まる海外現地法人が日本企業の人的リスクとなっています。本セッションでは、これから海外へ活路を求める日本企業のグローバル戦略について、人的観点からみた課題と方向性について解説します。

2-9 (11月26日14:30-15:30 東京)
3-8 (11月29日14:20-15:20 名古屋)

日本企業にとってのIFRS重要論点 — 先行企業の導入経験を踏まえて

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 辻野 幸子(公認会計士) 東京
パートナー 田中 弘隆(公認会計士) 名古屋

すでに我が国においてIFRSを適用している企業の事例を踏まえ、IFRSの適用が企業の財務諸表項目に与える主な影響について概観するとともに、多くの日本企業がIFRS適用時に検討する必要があると考えられる会計上の論点について、プロジェクト経験も踏まえ説明します。

2-10 (11月26日14:30-15:30 東京)

企業開示の新潮流

— 制度対応を超えた
コミュニケーションツールとしての開示とは

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 齋尾 浩一朗(公認会計士)

近年、有価証券報告書など制度対応としての開示も拡充されてきており、IFRSを適用した企業では財務諸表注記も大幅に情報量が増加しています。また、社会の構成員としての企業の責任も大きく変化してきており、企業の説明責任はますます重くなっています。本セッションでは企業価値実現に貢献できるコミュニケーションのありようと提示すべき情報について、ツールの1つとして注目されている「統合報告」も踏まえて説明します。

2-11 (11月26日14:30-15:30 東京)

経営管理高度化を支える インフラの再構築

ーグローバル時代の情報システム整備

あずさ監査法人 IT監査部 シニアマネジャー 清水 多賀雄

販売・生産拠点の海外進出によるグローバルベースでの活動が増大するに伴い、より広範で精緻な経営状況の把握が求められています。また、グループ全体のPDCAサイクル短縮のためにも、業績把握・分析・評価のスピードの向上が重要です。本セッションでは、経営管理高度化を支える情報システムの整備を行う際のフレームワークや留意点を考察します。

2-12 (11月26日14:30-15:30 東京)

3-3 (11月29日10:00-11:40 名古屋)

4-9 (12月9日16:00-17:00 大阪)

ケーススタディで解説する 中国PE課税強化の動向とその対応策

KPMGアドバイザー(中国)上海事務所
ディレクター デイビット・ファン(米国弁護士)
シニアマネジャー 長谷川 朋美(税理士)

中国現法への技術支援等の出張者を対象にした「出張者PE課税」に加え、現法出向者を日本へのPE課税回避の「隠れみの」としてPE認定する「出向者PE課税」がフォーカスされています。本年「出向者PE課税」の明確化に向けた通達(国税総局公告2013年19号)が発行され、今後も関連通達の発行が見込まれます。本セッションではその対応策について解説します。

2-13 (11月26日14:30-15:30 東京)

4-11 (12月9日16:00-17:00 大阪)

ミャンマー投資・会計・税務 最新事情

KPMGミャンマー 事務所長
パートナー 藤井 康秀(公認会計士)

東南アジア最後のフロンティアとして注目度の高いミャンマーより、①外国投資法の規制事業に関する認可の動向、②合併事業の投資スキームに関する最新法務、③新税法における税務実務の実態、④ミャンマー会計基準と現地企業会計記録の乖離の実態など、具体的な事例研究を中心に最新情報をご紹介します。

2-14 (11月26日14:30-15:30 東京)

自動車業界のサプライチェーンを 取り巻くリスクとその対応

KPMGビジネスアドバイザー ディレクター 奥村 優

自動車業界では他社技術への依存度の高まりから、サプライチェーン上でのOEMのポジションが相対的に低下する一方で、紛争鉱物やソフトウェア著作権について仕入先を含めた対応が求められるようになってきています。本セッションでは、それらの事例を紐解きながら、自動車業界におけるリスクと対応について解説します。

2-15 (11月26日14:30-15:30 東京)

3-12 (11月29日15:40-16:40 名古屋)

非財務情報開示の最前線

ーサステナブルな社会実現のために

KPMGあずさサステナビリティ パートナー 船越 義武

サステナブルな社会形成に向けて、従来、SRI(社会的責任投資)として限られた投資行動における評価対象だった非財務情報が、ESG(環境・社会・ガバナンス)という要素として、より幅広い投資行動に反映されるようになってきています。本セッションでは、投資家やアナリストに訴求する非財務情報開示について、先進企業にみる最前線を紹介いたします。

2-16 (11月26日14:30-15:30 東京)

新興国におけるPMIをスムーズに進めるためのリスク対応

KPMGビジネスアドバイザー シニアマネジャー 森本 正一
(PMP(プロジェクトマネジメントプロフェッショナル)、CISA(公認情報システム監査人))

新興国における日本企業のM&A事例では、PMI(買収後の統合)について検討が不十分なまま買収を完了した結果、統合方針・計画の策定が不十分なケースや、統合後の事業コントロールが当初の期待通りに進行しないケースが多く見受けられます。本セッションでは、新興国でのPMIに際して留意すべきリスク、対応のポイントについて事例を交えて解説します。

2-17 (11月26日16:00-17:00 東京)

IFRSの潮流と会計ガバナンスの再構築 —連結経営管理の課題解消に向けて

あずさ監査法人 アカウンティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 中田 宏高(公認会計士)

近年、日本基準の下で会計方針を変更するケースやグループ会社間の決算期を統一する事例が増加しています。本セッションでは、これらの背景には何があるのか、この現象をどのように読み解くべきなのかについて検討を加えながら、グローバル化が進む中で、会計による連結経営管理にどのように取り組むべきかについて解説します。

2-18 (11月26日16:00-17:00 東京)

退職給付会計基準改正への実務対応

あずさ監査法人 金融事業部
パートナー 三輪 登信(公認会計士、年金数理人)

2014(平成26)年3月末に原則適用が始まる改正退職給付会計基準では、未認識項目の連結B/Sオンバランス化やPBO計算(期間帰属、割引率)の見直し等が行われます。これらは財務諸表へのインパクトが大きい上、実務対応上も専門的で高度な判断を要します。本セッションでは、改正基準適用における実務対応の留意点に加え、経営への影響と対応策等を解説します。

2-19 (11月26日16:00-17:00 東京)

巨額ののれんの減損は、 なぜ起こったか、どう防ぐか

KPMG FAS トランザクションサービス部門
パートナー 加藤 健一郎(公認会計士)

買収後数年のうちに巨額ののれんの減損損失を計上することを伝えるニュースが新聞紙上を時折騒がしています。本セッションでは日・米・IFRSの各会計基準におけるのれんの減損の意味を踏まえ、そのような短期間で、のれんの減損がなぜ発生したのか、また、それを防ぐために各関係者にできることがあったのかについて、事例をみながら考察します。

2-20 (11月26日16:00-17:00 東京)

3-14 (11月29日15:40-16:40 名古屋)

海外腐敗防止体制構築について —もはや「待ったなし」の外国公務員等 贈賄リスク対応体制の構築

KPMG FAS フォレンジック部門 パートナー 高岡 俊文(公認会計士)
KPMGビジネスアドバイザー ディレクター 林 稔(公認会計士)

昨今の米国海外腐敗行為防止法違反摘発の増加、英国贈収賄法の施行、新興国の贈収賄規制強化の動向に鑑みると、特にグローバル企業にとって、外国公務員等への贈賄防止体制の構築に係る説明責任が重大な課題となっています。本セッションでは、海外腐敗防止体制の有効な取組みとその構築ステップについて、具体的な事例とともに解説します。

2-21 (11月26日16:00-17:00 東京)
3-10 (11月29日14:20-15:20 名古屋)
4-3 (12月9日13:00-14:00 大阪)

インドネシア投資・会計・ 税務最新事情

あずさ監査法人 インドネシアデスク
シニアマネジャー 石渡 久剛(公認会計士)

世界第4位の人口規模を有し、魅力的なマーケットとしての存在感を増すインドネシア。しかしながら、日本で収集できる情報には限りがあり、進出後に予期せぬ困難に直面している企業も少なくありません。本セッションではインドネシアにおける法人設立手続き、およびインドネシア会計基準の特徴や重要な税制、ならびに業務上の留意点について説明します。

2-22 (11月26日16:00-17:00 東京)

エネルギービジネスの グローバルリスク管理

KPMGビジネスアドバイザー
パートナー 浅沼 宏(公認会計士)

エネルギー関連事業の環境は、シェールガス革命、中東以外の地域への進出など、大きな転換期を迎えており、ビジネスモデルの多様化とグローバルでの経営管理が課題となると考えられます。本セッションでは、エネルギー関連事業について、グローバル経営の視点を中心にリスク管理およびグループガバナンス戦略を考察します。

2-23 (11月26日16:00-17:00 東京)

ヘルスケアのグローバルな潮流と 日本市場に対する示唆

KPMGヘルスケアジャパン
パートナー 大割 慶一(公認会計士)

わが国を含む世界各国のヘルスケアシステムは、高齢化や技術進歩、財政制約といった共通する課題に直面しており、改革に向けたアプローチも各国で近似しています。本セッションでは、これらグローバルな潮流とわが国ヘルスケア市場改革の方向性、ならびにヘルスケア市場に対峙する日本企業の事業戦略への示唆について考察します。

2-24 (11月26日16:00-17:00 東京)
3-5 (11月29日13:00-14:00 名古屋)

グローバル企業の成長戦略における 情報システムの活用について

あずさ監査法人 IT監査部 パートナー 高橋 正太
(公認情報システム監査人、システム監査技術者、公認不正検査士)

リーマンショック、超円高、デフレといった、日本経済に吹き荒れた逆風を乗り越え、日本企業はグローバルマーケットへ挑戦しつづけています。成長戦略実現の鍵を握るのは、情報システムの活用の善し悪しです。本セッションでは情報技術動向、情報技術動向、組織/人の関わり等を紐解きながら、様々な観点から成功のヒントを探っていきます。

3-7 (11月29日13:00-14:00 名古屋)

グローバルな視点から見た国際課税の 現況と動向 —新興国、BEPS、OECD

KPMG税理士法人 国際事業アドバイザー
パートナー 角田 伸広

OECD加盟の欧米各国だけでなく、アジアや南米等いわゆる新興国も含めた、多くの国が国際課税で大きな役割を占めるようになってきました。このようななか、原理原則だけでなく各国の税務当局の考え方や方向性について理解を深めることが、実務上も必要とされています。本セッションでは、国際課税につき、最近のBEPS等の動向もふまえ、検討・報告します。

3-13 (11月29日15:40-16:40 名古屋)

4-12 (12月9日16:00-17:00 大阪)

西日本の上場企業が抱える M&Aの課題と対策

あずさ監査法人 大阪事務所
アカウントティング・アドバイザー・サービス事業部
シニアマネジャー 葛城 寛(公認会計士)

本年度、あずさ監査法人は西日本地区を中心に、上場会社を対象としたM&Aに関するアンケートを実施しました。本セッションでは、アンケートにおいて多くの会社が挙げた課題(想定したシナジー効果が得られなかった、買収後に業績が悪化した等)について解説します。またこれらの課題への対策について、アンケート結果および当法人での業務事例を踏まえて紹介します。

4-1 (12月9日13:00-14:00 大阪)

再編スキームの策定と税務リスク

KPMG税理士法人 大阪事務所
パートナー 中谷 浩一(公認会計士、税理士)

M&Aやグループ内再編等の場面では様々な再編スキームが検討されます。本セッションでは主に税務の観点から、まず組織再編税制の概要(平成25年度税制改正含む)を説明し、次に一般的に検討されるスキーム案や、各スキームにおける再編当事者やその株主の税務上の取扱い、ならびにそれに対する税務リスク等について、事例を交えて紹介します。

4-2 (12月9日13:00-14:00 大阪)

連結経営管理の新潮流

ー統合的連結経営管理と管理連結ソリューションの動向

あずさ監査法人 大阪事務所
アカウントティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 庄司 芳彦(公認会計士)

多くの日本企業が長年課題認識し、本格的に取り組み始めようとしている「連結経営管理の高度化」について、プロジェクトが陥りがちな失敗事例の分析を行うとともに、管理連結のベストプラクティスとソリューションの最新動向を解説します。そして、新潮流である「統合的連結経営管理」の実現像とアプローチについて紹介します。

4-5 (12月9日14:30-15:30 大阪)

移転価格税制の最新動向

KPMG税理士法人
大阪事務所 パートナー 川井 健司(税理士)
国際事業アドバイザー パートナー 角田 伸広

日本の移転価格税制の執行は、特定大企業への特別調査の色彩は薄れ、文書化導入、移転価格ポリシーの奨励、国税通則法改正等により、ますます一般化の傾向にあります。諸外国も体制を整えつつあり、最新動向の理解は不可欠です。本セッションでは、税制改正、OECD改正、移転価格調査、裁決事例、二国間協議等を中心に最新トピックを解説します。

4-10 (12月9日16:00-17:00 大阪)

日本におけるIFRSの適用動向と 企業の取組

あずさ監査法人 大阪事務所
アカウントティング・アドバイザー・サービス事業部
パートナー 公江 祐輔(公認会計士)

最近、IFRSの適用をめぐる動きが活発になっています。本セッションでは、日本での適用拡大に向けた動きと企業の適用検討状況につき解説します。また、将来のIFRS適用も視野に入れた取組を模索される企業の参考として、適用企業の目的、さらに外部報告の新潮流である統合報告とIFRSとの関係にも触れ、日本企業にとってのIFRSの利用価値について解説します。

開催概要

開催日	東京	2013年11月25日(月)・26日(火)	
	名古屋	2013年11月29日(金)	
	大阪	2013年12月9日(月)	
時間	東京	午前の部 10:00～12:10	午後の部 13:20～17:00
	名古屋	午前の部 10:00～11:40	午後の部 13:00～16:40
	大阪	午前の部 10:00～11:40	午後の部 13:00～17:00
会場	東京	東京ミッドタウン ホール&カンファレンス 〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-1 TEL: 03-3475-3103	
	名古屋	ミッドランドホール (ミッドランドスクエア5F) 〒450-6205 名古屋市中村区名駅4-7-1 TEL: 052-527-8500 (代表)	
	大阪	ホテルニューオータニ大阪 〒540-8578 大阪市中央区城見1-4-1 TEL: 06-6941-1111 (代表)	
受講料	無 料 (事前登録制)		
お問合せ先	KPMGフォーラム2013事務局 (有限責任 あずさ監査法人 マーケティング部) 〒162-8551 東京都新宿区津久戸町1-2 あずさセンタービル TEL: 03-3266-7556 e-mail: marketing@jp.kpmg.com		

※セッションによって定員数が異なります。

※定員に達したセッションより、順次締め切りとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

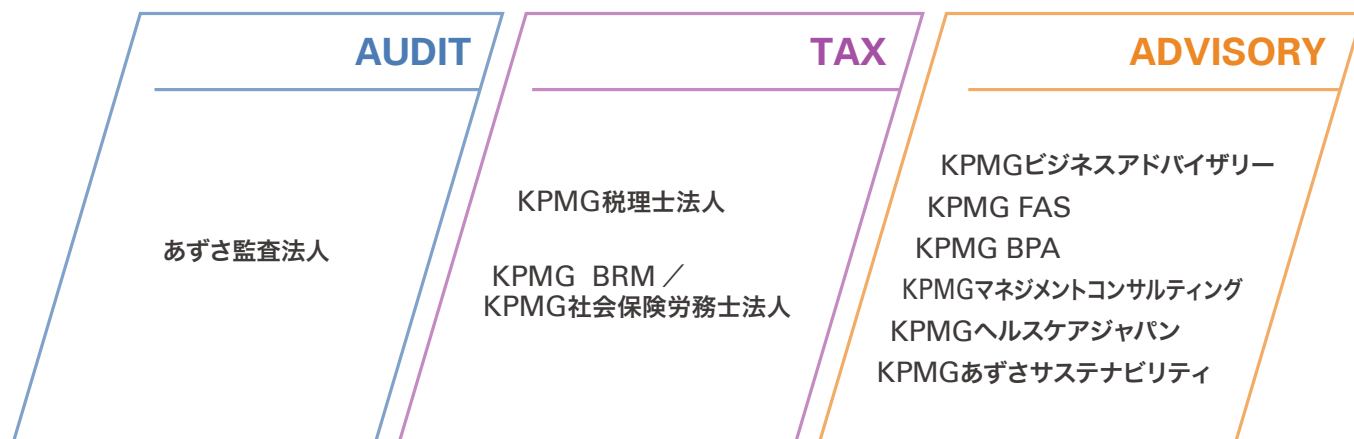
※内容および講師等は都合により変更される場合がございます。

※自然災害等が発生した場合には、開催を延期または中止する場合がございます。

KPMGジャパンについて

KPMGジャパンは、KPMGインターナショナルの日本におけるメンバーファームの総称です。監査、税務、アドバイザリーの3つの分野にわたる10のプロフェッショナルファームによって構成されており、グループ全体で約6,600名の人員を擁しています。

クライアントが抱える経営課題に対して、各分野のプロフェッショナルが専門的知識やスキルを活かして連携し、またKPMGのグローバルネットワークも活用しながら、価値あるサービスを提供しています。



皆様の個人情報をより安全にお預かりするため、KPMGジャパンウェブサイトからのセミナー申込みの際に会員登録をお願いしています(登録は無料です)。

セミナー申込画面へアクセスするには、ご自身でログインIDとパスワードを設定していただく必要があります。事前に会員登録をお済ませの上、お申込み手続きをおすすめくださいますよう、お願い申し上げます。

なお、既にログインIDをお持ちの方は、継続してご利用いただけます。

会員登録およびログインIDの設定手順



- ① ウェブサイト <http://www.kpmg.or.jp/r/kpmgf-2013.html> にアクセスする。
- ② 「新規会員登録はこちら」をクリックし、STEP1～5に沿ってログインIDとパスワードを設定する。

(*1) 設定したログインIDとパスワードはお手元にお控えください。

(*2) 本登録は、確認メール到着後24時間以内に行ってください。

※会員登録は受付開始日より前にお手続きが可能です。事前にご登録されることをおすすめいたします。

※1つのログインIDで複数名のお申込みはできません。必ずお1人様ずつご登録ください。

受付開始日

2013年10月16日(水) 10:00より

<http://www.kpmg.or.jp/r/kpmgf-2013.html>

※ 申込受付はウェブサイトからのみとなっております。

※ セッションごとにお申込みいただく形式となっておりますので、ご関心のあるテーマをご自由にお選びください。

※ お1人様による同日同時間帯セッションの複数お申込みはできませんのでご注意ください。

ご提供いただく個人情報は、KPMGジャパンのHPに掲載している個人情報保護方針(<http://www.kpmg.or.jp/privacy.html>)に基づき、

①KPMGジャパンからの有益な情報の提供(サービスのご案内、メールニュースの配信、ニューズレターの配送、セミナー・イベントのご案内や参加のご確認など)、②KPMGジャパンへのお問合せに関する回答、等に利用させていただいております。